# Ⅰ　実践

## 1　研究主題

生徒の人権感覚や人権意識を育成するための教育活動の充実と人権教育推進計画の工夫・改善

### （1）主題設定の理由

人権の基本にあるのは，一人一人の人間の尊厳である。そのため，本校は「茨城県人権施策推進基本計画」に基づき，「教育活動全体を通して人権尊重の精神を養うとともに，差別や偏見をもたない児童生徒の育成」を目指している。これを踏まえ，教科や領域での教育活動全体で体験的な活動や話合い活動を通して人権についての理解を深めることができれば，一人一人の人権尊重に対する意識を高めることができると考え，本主題を設定した。

### （2）研究のねらい

各教科，道徳，特別活動等の教育活動全体を通して，人権教育の充実を図り，人権尊重の精神の育成を目指す。

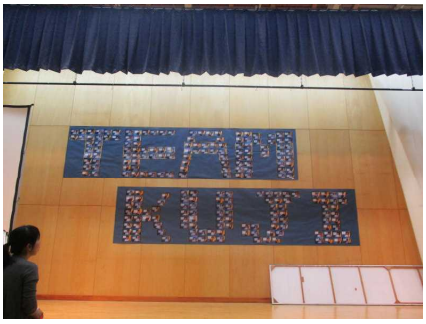
## 2　実践内容

### （1）学校全体としての取組　～いじめストップ！　絆づくりプロジェクト～

ア　各クラスの「絆づくりプロジェクト」への取組

生徒会が作成した「絆バトン」を各クラスリレー形式で繋いだ。「絆バトン」が回ってきたクラスは，「絆づくり」をテーマに，それぞれが独自の活動を行った。

【絆バトンをもって集合写真】



【全校生徒の顔写真を繋げた TEAM　KUJI を体育館に掲示】

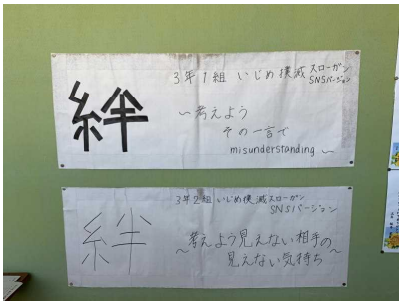
【外で給食を食べました】

イ　「いじめ撲滅のためのスローガン」と「いじめ撲滅宣言」の発表

全クラスで「いじめをなくし，お互いの絆を深めるためにはどうすれば良いか」について考え，話合い活動を行った。また，スローガンは「日常生活で考えること」と「インターネットや SNS 上で考えること」の 2 種類について作成した。

【生徒総会にて】

【黒潮祭での発表】




【廊下掲示の様子】

ウ　人権メッセージへの取組

人権メッセージは，夏休みの課題として全校生徒が取り組んだ。各クラスで代表となる 3 点を選定し，黒潮祭で掲示を行った。保護者の方々の投票と全校生徒の投票によって最優秀作品を決定し，全校集会で表彰した。

【昇降口に掲示】

【黒潮祭での掲示の様子】

【廊下掲示と顔写真の TEAM】

（2）　地域との交流

久慈中生として地域と連携したリサイクル活動やボランティア活動を行うことにより，地域集団の一員として役割を果たし，自覚をもって行動することができるようになった。

【久慈小学校とのあいさつ運動】

【リサイクル活動】

【地域のふくしまつりに参加】

3　成果

・「いじめストップ！絆づくりプロジェクト」からの活動を継続するし「いじめ撲滅運動」という言葉は生徒になじみのあるものになった。一人一人の違いや個性を認め，尊重する意識，困っている友達がいたら助けようとする心，いじめという行為を見過ごさない・許さないといった雰囲気が育まれてきた。また，黒潮祭で「いじめ撲滅宣言」を全クラスが発表することによって，学校全体として「いじめを許さない」という意識を共有することができた。
・人権メッセージやいじめ撲滅宣言を教室内や廊下に掲示したこと，道徳の授業や，学年集会や全校集会の実施，黒潮祭等の活動を通して，生徒の言動に変化が見られてきた。トラブルのもとになるような厳しい言葉のやりとりではなく，相手を思いやるような言葉かけが増えてきた。
・各学年で行っている活動や授業実践により，情報機器を介したＳＮＳ等でのトラブルの数が減少してきている。

Ⅱ　今後の課題

各教科や道徳，総合的な学習の時間，学校行事など教育活動全体の中で，人権に対しての取組をさらに充実させ，生徒一人一人の人権感覚や人権意識を高めていきたい。そのために３年間継続している「いじめ撲滅運動」を発展させ，「絆づくりプロジェクト」を生徒会を中心に行ってきた。取組が成果として表れてきているので，今後も活動を継続・発展させていきたい。さらに，学区内の久慈小学校，東小沢小学校や坂本小学校と連携をとりながら活動を進めることができたため，こうした取組を，地域に積極的に広報し，連携をさらに密にしながら活動を行うことができるようにしていきたい。